

# 公共交通のこれから



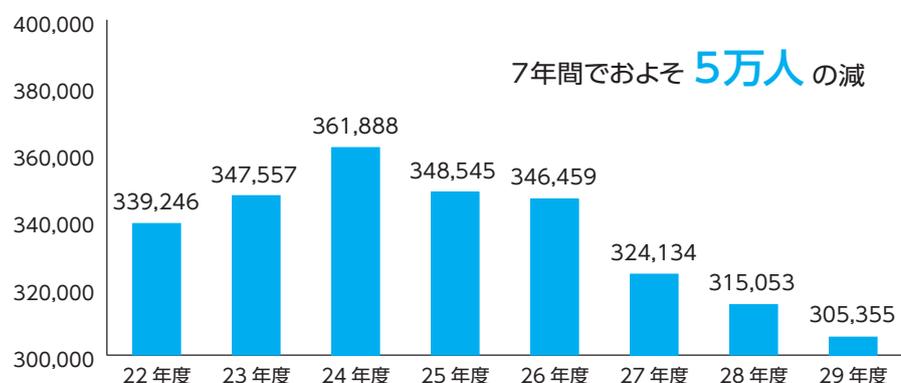
自家用車を持たない人にとって、買い物や普段の生活に欠かすことのできない公共交通。町では、公共交通サービスを安定的に提供するために制度の見直しを行います。今回の特集では、その見直しのポイントを紹介しながら、公共交通のこれからを考えます。

問い合わせ 都市建設課

図1 コミュニティバス利用者数の推移 (単位:人)



図2 西鉄バス利用者数の推移 (単位:人)



## 岡垣町の公共交通

町の公共交通には、JR海老津駅を中心に西鉄バス宗像が運行する路線バス(以下、西鉄バス)、それを補完するためのコミュニティバスがあります。これらに加え、平成29年10月からは一部の地域でデマンドタクシーの実証運行を行っています。

## 年々厳しくなっている現状

平成17年から運行を開始し、住民の皆さんにとって重要な移動手段となっているコミュニティバス。多いときは、年間12万人以上が利用していましたが、近年は減少傾向にあり、平成29年度の利用者数は約9・7万人となっています(図1)。

また、西鉄バスの利用者数も年々減少しており、ピーク時と比

べると約5万人の利用者減となっています(図2)。特に波津線は利用者数が少なく、運行しても赤字になってしまったため、西鉄バス宗像から一部廃止の申し入れがあるなど、町の公共交通を取り巻く環境は厳しい状況にあるといえます。

## 公共交通はどのように変わる?

これらの厳しい状況を踏まえ、町では公共交通を守るために地域公共交通協議会を立ち上げ、より良い公共交通のあり方を検討してきました。

その結果、平成30年10月から、町が運行するコミュニティバスの運賃改定や一部路線の変更などの制度見直しを行います。また、デマンドタクシーの対象エリアの拡大や料金の値下げ、運行時間の変更などを行うことが決まりました。詳しい内容は3ページ以降をご覧ください。



# デマンドタクシーが使いやすく

## デマンドタクシーとは

対象地域に住んでいる人が利用できる町が運営する乗り合いタクシーのことで、「エリア内バス停」と病院・商業施設などの「指定施設バス停」を行き来します。コミュニティバスや西鉄バスの利用者が少なく、運行が難しい地域を補う新たな公共交通として、平成30年10月から運用方法を見直します。デマンドタクシーの利用には事前の利用登録と、利用前の電話予約が必要です。

## より良いサービスを 提供したい

デマンドタクシーは便利なサービスですが、昨年10月から行っている実証運行の中では、利用者の皆さんからより良いサービスにするための貴重な意見をいただきました。

10月からは、これまでにいただいた皆さんの声や利用状況などをもとに、対象エリアの拡大や運賃の値下げなどを行い(図5)、さらに利用しやすい公共交通サービスを目指します。

## ■利用者の声 インタビュー

### 便利ですが、課題もあると思います

デマンドタクシーは通院時などによく利用しています。正直料金が少し高く感じますが、通常のタクシーに比べると安く目的地に行けるのでとても助かっています。また、どの運転手さんも優しく接してくれるので安心して利用できます。

デマンドタクシーを使うようになって、中央公民館や役場などの公共施設には行きやすくなりました。しかし、エリア外に住んでいる家族や友人のところには、バスに乗り換えないと行けないところが不便に感じます。また、休

日の利用ができないことや病院と買い物など、複数の目的があるときに帰りの時間が予測できず、予約しづらいことも今後の課題だと思います。便利であることは事実なので、もっと利用しやすいサービスになればいいなと思っています。



海老津区  
木原静子さん

図4 デマンドタクシーの運行地域・バス停



図5 デマンドタクシーの見直しの内容

		現 行		見直し後			変更点
対象地域	上畑・上高倉・海老津 (小局)			上畑・上高倉・海老津 (小局)・戸切・戸切百合野			対象エリアの拡大
対象者	デマンドタクシーエリアに住んでいる人						変更なし
予約方法	前日の午後5時まで			前日の午後5時まで (運行の1時間前までであれば運行時間の変更が可能)			予約方法の弾力化
運行日	平日のみ						変更なし
運賃	1人あたり片道 400 円			1人あたり片道 300 円			料金の値下げ
運行区間	エリア内バス停⇔指定施設バス停						変更なし
運行時間	エリア内バス停	方面	指定施設バス停	エリア内バス停	方面	指定施設バス停	運行時間帯の拡大、便数の増加
	午前9時ごろ	→	午前10時ごろ	午前8時ごろ	↔	午後5時ごろ	
	午前10時ごろ	→	午前11時ごろ				
	午後0時ごろ	←	午前11時ごろ				
	午後1時ごろ	←	午後0時ごろ				
	午後1時ごろ	→	午後2時ごろ				
	午後2時ごろ	→	午後3時ごろ				
	午後4時ごろ	←	午後3時ごろ				
	午後5時ごろ	←	午後4時ごろ				
おおむね1時間ごとにエリア内バス停と指定施設バス停を双方向で運行							

公共交通は利用しないうと  
なくなってしまう

公共交通は、私たちの日常生活を支えるという大きな役割を持っています。しかし、現実にはバスの利用者が年々減り、路線の維持にかかる費用が町の財政を圧迫しています。

今回の見直しで廃止となったコミュニティバスの路線は、デマンドタクシーが補うことで現状のサービスをおおむね維持できるようになりましたが、公共交通は「いつでも利用できるもの」から「利用しないとなくなるもの」へと変わりつつあります。

未来に残すために  
積極的な利用を

10月から運用方法を見直すデマンドタクシーを含め、今後も町では各公共交通の利用状況を検証するほか、利用者の皆さんの声を傾け、地域の実態に合ったより良サービスを提供していきます。

公共交通を取り巻く厳しい現状から分かれるとおり、利用者が少ない路線やバス停などは統廃合を検討していく必要があります。公共交通の存続には、皆さんの積極的な利用が不可欠です。地域の移動手段を未来に残すためにも、日頃から意識して公共交通を利用しましょう。

## ニーズを満たす公共交通を

10月から行う公共交通制度の大幅な見直しは、運賃の改定や路線の再編など、皆さんの生活に直結するものばかりです。これまで町ではデマンドタクシーの実証運行などを通して、皆さんのニーズを模索してきましたが、公共交通に対する費用負担は相変わらず大きく、皆さんの

利用がなければ成り立たないサービスであると改めて実感しているところ です。

今後も公共交通を維持していくにあたって、さまざまな課題が出てくるとは思いますが、それらを十分に検証し、皆さんのニーズを満たす公共交通の実現に努めていきます。



岡垣町長 宮内實生